

- ▶ 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- ▶ 令和2年度においては、保育園や小中学校など次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による保育園の備品の整備、小中学校の椅子や机の整備を実施しました。
- ▶ 令和元年度は、間伐材等を利用した木工細工体験教室を実施し、椅子などを製作して区役所内で活用する他、身近な自然での森林環境教育につながるイベントを開催しました。（令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止）

□ 事業内容

国産木材活用コミュニティ活性化事業

- 国産木材を使用したベンチ・展示ボード・パンフレットラックを旭区民センターに設置することにより、広く利用者が木に触れ、その良さを実感する場を整備した。
- 常設展示及び区主催イベントにおけるアメニティグッズを活用した啓発活動の実施により、国産木材の利用促進に寄与した。

【事業費】 2,719千円（うち譲与税2,719千円）

【実績】 区民センター用木製ベンチ（背もたれあり）8台、（背もたれなし）13台、木製展示ボード8台、木製パンフレットラック2台、啓発用アメニティグッズ3,300個（コースター1,800個、カップ麺フタ止め1,500個）

□ 事業スキーム

一般競争入札

□ 工夫・留意した点

- 実際に見て、触れて木の良さを感じてもらえるよう、ベンチの素材は無垢材を指定し、設置場所の広さに合わせた寸法で製作・買入を行った。
- 展示ボードを活用し、森林環境譲与税及びその目的等に関する常設の展示物を作成することで、森林保護の重要性に関する啓発、国産木材の利用促進を行っている。
- 全ての備品に区マスコットキャラクターをデザインした表示物を作成、貼付することで、森林環境譲与税についてのPRを行っている。



木製ベンチ（背もたれなし）



木製ベンチ（背もたれあり）



木製パンフレットラック



アメニティグッズ



木製展示ボードを活用した展示

□ 基礎データ

①令和2年度譲与額	232,924千円
②私有林人工林面積（※1）	0.00ha
③林野率（※2）	0.00%
④人口（※3）	2,691,185人
⑤林業就業者数（※4）	62人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より